

ふれあい

主な内容

- 第26回一中地区コミュニティまつり 1 P
- 澄み渡った秋空の下 大運動会 2 P
- あれやこれや/わたしの楽しみ 3 P
- 青少年育成指導者研修会 3 P
- 地域のわだい 3 P
- わたしの散歩道 4 P
- 部会だより 4 P

●発行所/ひたちなか市長堀町 3-4-1 (1中地区コミュニティセンター内) 電話 029-275-2671 ●発行責任者/大和田 敬治 ●編集/広報委員会



第26回一中地区コミュニティまつり



11月12・13日、暖かな晴天に恵まれ、約6000人が来場し「第26回一中地区コミュニティまつり」が開催されました。館内には、各サークルの作品が展示され、来館者はその見事なできばえに感心していました。館外の広場には、17の模擬店が並びました。人気コーナーには早くから行列ができ、家族連れで賑わいました。

過去最高の人出で賑わう



作品展示・喫茶を担当

文化部会長 盛口祥子

文化部会は、例年通り館内の作品展示コーナー・喫茶コーナーを担当しました。9月中旬に、参加サークルから出展される作品の種類・点数などを把握して、展示会場の配置図を作成。まつり前日には、パネルの運搬・設置など重労働でしたが、自治会文化部会役員・参加サークルの代表の方に協力していただき、展示会場を設営しました。今年は18のサークルが参加して、400点を超える素晴らしい作品が展示されました。

喫茶コーナーは、お菓子と飲物に、音楽とお花のおもてなし。大勢のお客様で賑わいました。二日間にわたり、多くの来館者があつたことは、文化部会としてもとても嬉しく思っています。

バザー・花苗・コロッケパン

環境部会 関 信夫

環境部会は、家庭から品物を提供していただきバザーを開きました。また家庭に潤いを与える花苗と、腹が満足するコロッケパンを販売しました。早い段階からの準備の苦労もありましたが、売る方も買う方も笑顔一杯の会話で、疲れが吹き飛びました。コミセンまつりは、地域なじみの方々が、「しばらくね」の挨拶から始まり、握手したり入れ歯がゆるむ程大きな声で笑顔の会話。地域ならではの集会場となりました。

来年のコミセンまつりも、多くのお客様に参加していただけるよう、部会員一同頑張っていきたいと思っております。

澄み渡った秋空の下 大運動会



入場行進



開会式



幸福の玉入れ



地区対抗リレー

10月9日、第17回一中地区秋季大運動会が長堀小学校グラウンドで開催されました。長堀小金管部の演奏に合わせて各自治会の堂々たる行進が行われ、競技が開始されました。熱い声援のもと各種競技に終始熱戦が繰り広げられました。競技は笑い歓声のなか、勝負は最後の「総合リレー」になり、接戦の末、西中根自治会が優勝しました。今年は、東日本大震災で福島県から避難されている方も選手として参加されました。



綱引き



二人仲良く



長堀小金管部



安全運転リレー



全員集合



ケツ庄測定



心を一つに



ボールにおまかせ



一中吹奏楽部

今年は大運動会の運営責任分担を変更しましたが、関係者のご協力により大きなトラブルもなく行われました。今までは体育部に全面依頼の形でしたが、「運営はふれあいの会本部が主体となり実行すべき」との考えで、役割分担を変更して実行委員会を立ち上げました。今後は運営簡素化等で負担を少なくして行くべきと思います。各自治会からの要望もと入れ、楽しい運動会にしたいと思います。

役割分担を変更して
ふれあいを広める会
副会長 下村 修

第17回 一中地区秋季大運動会得点表

自治会	大町	西中根	青葉・石川	長堀・松戸	三反田	大平	金上	富士山	駅前南	薬師台	勝倉	笹野	団地	東中根	中根
びん倒しリレー	3	3		2	4	5	4	3	5	2	2	2	4	5	
2人仲よく	2	4		2	5	3	4	5	4	2	3	2	3	5	
心を一つに	2	3		4	5	4	4	5	5	2	2	3	3	2	
安全運転リレー	2	5		3	5	2	3	3	2	4	5	2	4	4	
ゲートボールリレー	2	5		3	3	4	3	4	5	2	2	4	2	5	
地区対抗リレー	3	5		3	5	5	4	4	2	4	2	2	2	3	
ボールにおまかせ	5	4		3	3	5	2	4	4	2	2	3	2	5	
綱引き	2	5		4	3	2	5	4	5	2	2	2	2	2	
ケツ庄測定	2	5		3	2	5	3	4	5	3	2	4	2	4	
総合リレー	2	4		2	2	5	3	4	3	3	4		2	5	
総合得点	25	43		29	40	40	35	40	40	26	26	24	26	40	
順位	12	1		8	5	2	7	6	4	11	9	13	10	3	

総合得点40の5自治会の順位は、総合リレーのタイムの早い順

私のたのしみ



生徒達が活躍する姿 照山 正己さん

勝田一中の女子ソフトボール部のコーチを8年前からされている、勝倉にお住まいの照山正己さん(49)に、ソフトボール県大会の会場でお話を伺いました。

コーチになったきっかけは、小学校でキックベースの監督をしていた頃、指導の采配ぶりを見ていた保護者の方々から、中学校の女子ソフト部のコーチを是非お願いしたいと頼まれ、やってみようという気持ちになったそうです。

指導する時間は、勤めているため土・日と週2~3回の放課後の限られた短い時間で、いかに早く技を習得させるかに苦労したそうです。

「まず最初に礼儀・団体行動の大切さを教え、次に強いチームに育てるために、一人一人の特性をしっかり把握し基礎を厳しく徹底的に指導をした」と語ってくれました。その甲斐あってか3年後には県大会で3位になりました。生徒たちにはいつも「高い目標を掲げ、それに向けて邁進する事」と話しているそうです。

照山さんは「私の楽しみは卒業生が高校や大学で活躍している姿を見る事や、それぞれ社会人になってからも交流を持ち続けている事なんです」と嬉しそうに話していました。

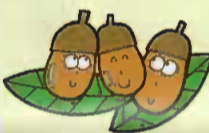
これからの希望は、「常に優勝を目指し努力する力を身に付けさせて、全国に通用する選手を育てたい」と、熱い眼差しで語ってくれました。



自治会活動に参加するようになって感じたことを書いてみます。自治会活動をうまく進めて行くためには、地域の協力や会員とのつながりが必要であると感ずることが多々あります。特に、この前の大震災にはそれを強く感じました。また、地域の自治会行事の参加者を集めるのにも苦労しています。では、どのようにその輪を広げて多くの人に自治会活動に関心を持ってもらうようにするかは、役員努力だけでなく、地域に住んでい



3月11日の震災の際には、三反田では小学校体育館と集会所が避難所となり、たくさんの方が避難されました。停電のため、当初はろうそくや懐中電灯の灯りだけでしたが、自治会の班長の一人が自家発電機を持ってきて、安全に過ごす事が出来ました。また、断水のため市から提供される飲料水を、高齢者で一人暮らしの要援護者に、自治会役員が届けました。若い人がお年寄りなど困っている方を積極的に手助けしている光景をたびたび見かけ、嬉しく



る人との協力をどう結んでいくかが重要だと思います。この関係を築くのは大変なことです。まずは一人一人が周りの住人と挨拶することから、やがて絆が出来るようになり、その人数を少しずつでも増やして行ければ大きな力や絆となり、それは平常や緊急時でも重要な力になって行くと考えます。

6月16日には、三反田小学校の先生や自治会各部会の協力を得て、消火訓練を行うとともに非常炊き出し訓練を行いました。9月21日には超大型の台風15号により、那珂川の水位が警戒レベルを超え、避難勧告が発令されました。自主防災会もハラハラしながら駆け回りましたが、幸い大きな被害もなく安心しました。これまで、地域の方々の協力をいただき、何とか乗り越えてきました。自分一人では何もできませんが、多くの方々の応援・絆を改めて感じ、今後とも少しでもお役に立てればと感じている今日この頃です。

あれや・これや



人とのつながりは まず挨拶から

笹野自治会
杉寄 正寿

地域の輪

三反田自治会
川内 勝夫

青少年育成 指導者研修会

ひたちなか市青少年育成指導者研修会を10月15日市文化会館で開催した。市内各団体から約150人が出席し、講師の東関東子育てサポートセンター代表木村利行先生のお話を伺った。演題は「親がわかれば子どもが変わる」明快で分かりやすい語り口で、「子育てはその場でやるべきことをしっかりやり、次へ進むことが子どもの心が安定して育っていく。それが本来あるべき早期教育だ」と先生の熱い想いを語られた。

地域のわだい

「こども夏祭り」で元気になるう!

薬師台自治会

8月28日、中根第6公園で「こども夏祭り」が行われました。薬師台自治会では、以前夏祭りを広い中根第5公園で盛大に行っていましたが、住民の高齢化などで行われなくなったとか。また、建物の老朽化・耐震不足のため取り壊される区域があり住民が減っているなか、少しでも地域が元気になるようにと、佐藤定男自治会長が3年前から夏祭りを復活させたそうです。

祭り前日から、高齢者クラブや自治会・子供会の役員が準備を行い、当日は公園内に輪投げやグランドゴルフ、かき氷やわたあめ・焼きそばの出店コーナーなどができ、一日中賑わいました。特に焼きそばコーナーには行列が出来ました。佐藤自治会長は「せっかく復活したこの祭りが、これからもずっと続けたい」と語っていました。



手作り品を被災地へ

青葉石川自治会 はなみずき女性学級

青葉石川自治会員を中心に15人のメンバーが、中央公民館を利用し「はなみずき女性学級」として活動しています。

私達も被災者ですが、甚大な被害に遇った東北に少しでも何かお役に立ちたいと思い、古布を使って手提げ袋とうさぎ人形のブローチを作りました。余震や原発事故の不安で、例年の色々な行事を中止にして取り掛かり70個程出来ました。ささやかな物でしたがひたちなか市の姉妹都市である石巻市の方々に送り、喜んでもらえました。これからも私たちに出来る範囲で応援したいと思っております。



芋煮会で心も身体も温かく

金上自治会

11月23日、金上会館で「三世代交流芋煮会」が行われました。

今回で14回目になり、幼児から高齢者まで約100人が参加しました。まずは、市の交通指導員によるクイズや腹話術を交えての交通安全教室。次に、保健推進委員を先頭に健康体操で体をときほぐし、世代交流によるグランドゴルフや竹馬などを行いました。お腹が空いたところで、お母さんたちが作った具たくさん芋煮汁を食べ、最後にピンゴゲームで大いに盛り上がりました。風が少し冷たかったのですが、心も身体も温くなる一日でした。



わたしの散歩道

今回は、地域のイルミネーションを紹介します。今年は節電のためイルミネーションをつける家庭は少ないのですが、つけてもLED電球に変えたり時間を短くしたりして、節電対策をしているようです。冬は空気が澄み、星や街の灯がきれいに見える季節です。防寒対策をして、光の芸術を楽しんでみてはいかがでしょうか。(編集の都合上、去年の写真も掲載しました。)



勝田駅西口



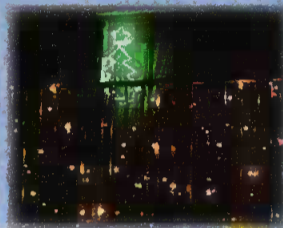
勝倉地区



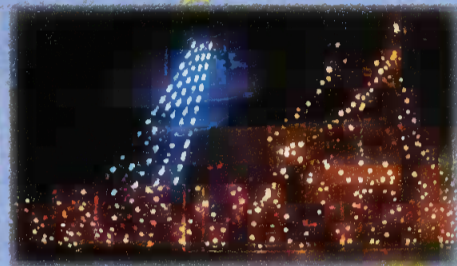
大平地区



東中根団地



富士山団地



長堀地区



松戸地区



部会だより



青少年部会

7月30日、今年度は三世代ふれあい手作り工作教室を、三反田小学校体育館で開催した。子どもたち・高齢者クラブ・育成会・保護者など約150人が参加し、竹とんぼ・水鉄砲・ブローチなどを作ったり遊んだりして三世代間のふれあいを深めることができた。



環境部会

環境部会では、一中地区内の2つの地域を重点地域(パトロール区域)として、クリーン運動を展開している。今年度は、中根小学校付近の東中根地区と、大平地区の二つの地域を実施。部会員およそ25人がごみ袋持参でごみ収集に汗を流した。地域の方々から感謝の声が寄せられた。



福祉部会

9月6日、一中地区の14自治会から66人の高齢者の方が「ふれあいの旅」に参加して、大子町の「やみぞ」で福祉環境についての研修会が行われた。それぞれ各自自治会の活動内容を紹介し合い、互いに助け合って生活できる地域づくりについて、楽しい交流ができた。



安全防災部会

8月26日、27人が参加し、根本クッキングスタジオの根本悦子先生による「食の安全について」の講演を実施。放射能から甲状腺を守るため、昆布など海藻類のヨウ素・カリウムを摂取。乳製品・豆類・野菜1日250グラムなどを食す。毎朝お茶・味噌汁・梅干を食べる。こうして健康維持しようとの話があった。



結果報告

- *ゲートボール 優勝 富士山B 準優勝 笹野
- *ペタンク 優勝 長堀松戸B 準優勝 笹野長寿会
- *輪投げ 優勝 中根ときわ会A 準優勝 大成町C
- *グラウンドゴルフ 優勝 ふじやまクラブA 準優勝 大平グランドゴルフB



体育部会

10月29日、石川グラウンドで第8回三世代交流レクリエーション大会を開催した。

先の大震災では多くの物を失いましたが、地域の絆と多くの人の協力で、各行事も盛大に行われました。今後この絆を大切にしていきたいです。



文化部会

10月6日、40人が参加してリーダー研修会を開催した。都立小金井公園内にある「江戸東京たてもの園」をガイド付きで視察。この園には、江戸時代から昭和初期までの現地保存が困難な文化的価値の高い歴史的建造物が、移築・復元されている。その後、東京で二番目に古い深大寺を参拝した。同寺は、そば処と縁結びで有名。門前には、そば屋が軒を並べ大勢の人で賑わっていた。